

初級中国語 -中国語ビギナーのための入門ガイドンス-

単位数	ナンバリングコード	
2	DFL106	
	教員名	田中 英夫
	専門	貿易論・国際関係論・国際経営論・中国語・中国ビジネス論
	出身校等	大阪市立大学大学院経営学研究科商学専攻後期博士課程修了（商学博士）
	現職	北海道情報大学 情報メディア学部 教授
授業形態		
前期印刷授業・後期印刷授業・前期IPメディア授業・前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業		
授業範囲	試験範囲	
<ul style="list-style-type: none">・「発音編」の範囲は初級中国語の母音（36個）、子音（21個）、四声、軽声、音節の仕組みなど・「文法編・読解編」の範囲は単語・文法・本文・練習問題など・「会話編・中国語の豆知識編」の範囲はコラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9個）など	<ul style="list-style-type: none">・2冊の指定教科書が範囲です。・2冊の指定教科書本文と語法からだが、リスニングはありません。 <p>【印刷授業・IM授業：試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く）と生成系AIの参照は不可とする。</p> <p>【IPメディア授業：試験時持ち込み許可物】 一切自由</p>	
科目の概要		
テーマ 基礎から初級程度の中国語の習得 概要 この講義では、授業担当者自身が書いた2冊の教科書を使い、初級中国語の発音・文法・読解の基礎を習得すると同時に、日常会話能力の養成も図りたいです。		
授業における学修の到達目標		
<ul style="list-style-type: none">・初級中国語の母音、子音、四声、軽声、音節の仕組みなどを簡潔に解説し、正確な発音を習得します。・単語・文法・本文・練習問題などの学習を通じて、初級中国語の文法と読解力を高めます。・コラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9個）の学習を通じて、初級中国語の日常会話力を高めます。同時に、中国語の豆知識も身に付けます。		
講義の方針・計画		
I 「発音編」の方針 初級中国語の母音、子音、四声、軽声、音節の仕組みなどを簡潔に解説し、正確な発音を習得します。		
II 「文法編・読解編」の方針 単語・文法・本文・練習問題などの学習を通じて、初級中国語の文法と読解力を高めます。		
III 「会話編・中国語の豆知識編」の方針 コラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9個）の学習を通じて、初級中国語の日常会話力を高めます。同時に、中国語の豆知識も身に付けます。		
具体的な講義の計画は以下の通りです。		

講義の方針・計画

※第1回と第2回は指定教科書『誰でも簡単に話せる中国語日常会話』で実施

第1回：発音編（その1）

1. 中国と中国語の基礎知識
2. 母音（36個）とは何か？
3. 子音（21個）とは何か？

第2回：発音編（その2）

1. 母音（36個）と子音（21個）の総合復習
2. 「音節の仕組み」と「音節の綴りの規則」の解説
3. 発音編課題の解答記入（受講者）と解答の解説（担当者）

※第3回～第12回は指定教科書『中国語基礎～よく使う基本文法だけ覚えよう～』で実施

第3回：文法編・読解編（会話集 第1課の単語、文法、本文、練習問題など）

第4回：文法編・読解編（会話集 第2課の単語、文法、本文、練習問題など）

第5回：文法編・読解編（会話集 第3課の単語、文法、本文、練習問題など）

第6回：文法編・読解編（会話集 第4課の単語、文法、本文、練習問題など）

第7回：文法編・読解編（会話集 第5課の単語、文法、本文、練習問題など）

第8回：文法編・読解編（会話集 第6課の単語、文法、本文、練習問題など）

第9回：文法編・読解編（会話集 第7課の単語、文法、本文、練習問題など）

第10回：文法編・読解編（会話集 第8課の単語、文法、本文、練習問題など）

第11回：文法編・読解編（会話集 第9課の単語、文法、本文、練習問題など）

第12回：文法編・読解編（会話集 第10課の単語、文法、本文、練習問題など）

※第13回～第15回は指定教科書『誰でも簡単に話せる中国語日常会話』で実施

第13回：日常会話編・中国語の豆知識編

1. コラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9個）の解説
2. コラボ型日常会話編（第十三課～第十四課の単語と本文など）

第14回：日常会話編・中国語の豆知識編

1. コラボ型会話で使う「主要助詞・副詞・介詞・助動詞」（9個）の解説
2. コラボ型日常会話編（第十五課～第十六課の単語と本文など）

第15回：日常会話編・中国語の豆知識編

1. コラボ型会話で使う主要「助詞・副詞・介詞・助動詞」（9個）の解説
2. コラボ型日常会話編（第十七課～第十八課の単語と本文など）
3. 課題の解答記入（受講者）と解答の解説（担当者）

準備学習

・教科書や学習プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。

・わからない用語や内容は、参考文献などで検索することが準備学習として必要になります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法

練習問題や課題は授業中にその解答の解説を行う形でフィードバックします。

成績評価の方法およびその基準

科目試験による評価100%

教科書

使用教科書（2冊）は以下の通りです。

・書名：『中国語基礎～よく使う基本文法だけ覚えよう～』（音声再生アプリ付）

教科書
<p>著者名：田中英夫 発行所：朝日出版社 ISBN：978-4-255-45424-5（予定：2026年3月に刊行予定です）</p> <p>・書名：『誰でも簡単に話せる中国語日常会話』（音声再生アプリ付） 著者名：田中英夫 発行所：朝日出版社 ISBN：9784255453491</p>
参考書
なし
その他
なし
試験期間
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026学年暦」を参照
学習プリント
あり
教職科目
関連受講科目
<ul style="list-style-type: none"> ・「海外事情（中国編）」（正科生Bのみ履修可能） ・「海外語学・文化研修（中国大連編）」（正科生Bのみ履修可能）
担当教員の実務経験
なし